

# 野川（世田谷区部）における 「多自然川づくり」の取組

2019年12月16・17日

東京都 建設局  
第二建設事務所

## 本日の報告内容

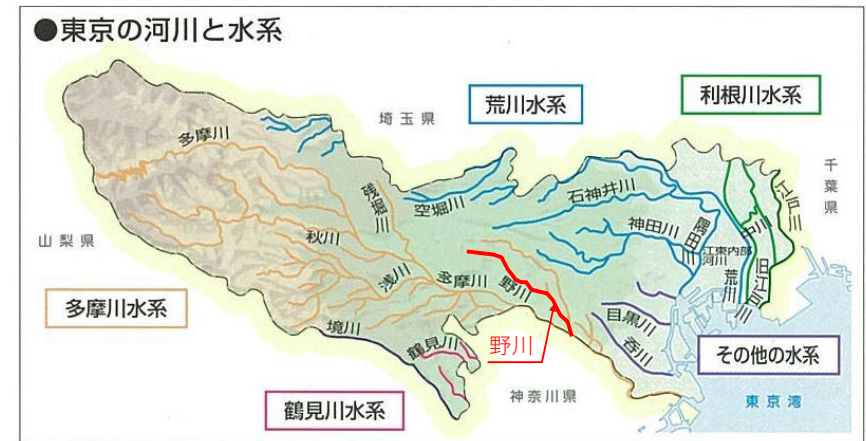
- 1 野川の概要
- 2 「多自然川づくり」の取組事例① 河道整備
- 3 「多自然川づくり」の取組事例② 河道内樹木の取扱い
- 4 その他の取組



河道内樹木「神明橋区間」のオオシマザクラ

# 1 野川の概要

## 東京の河川と水系図



## 野川流域図



## 多自然川づくりの取組事例①

## 河道整備

## 河川整備計画

## 野川流域河川整備計画（平成29年7月変更）

## ■第3章 河川整備計画の目標に関する事項

## &lt;洪水対策&gt;

- 河川への流出を抑制する流域対策と組み合わせ、時間65mm規模の降雨に対応
- 時間50mm規模の降雨に対応できる河道に加え、洪水を貯める調節池を整備

## &lt;河川環境&gt;

- 親水空間の創出、周辺景観との調和、湧水の保全、生態系の連続性の確保（瀬や淵の形成）など
- 治水上支障の無い範囲での樹木の保全



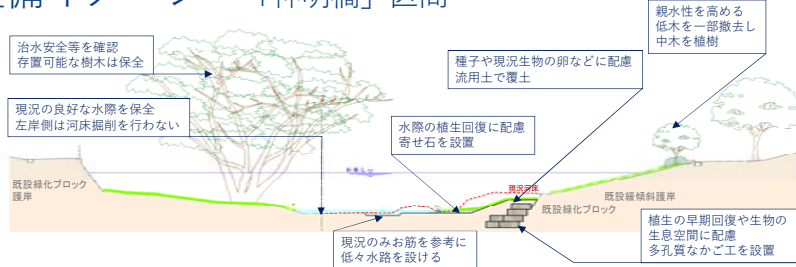
## 野川「神明橋区間」

「神明橋」を中心に上流の「谷戸橋」から下流の「小田急線高架橋」までの約1kmの区間（区部最上流）

国分寺崖線断面図（世田谷区HPより）



## 整備イメージ 「神明橋」 区間



### ○現況の良好な水際を保全

→左岸側は現況を残す  
(限定的な片岸掘削)

### ○存置可能な樹木は保全

→倒木・流木の危険性を継続的に監視

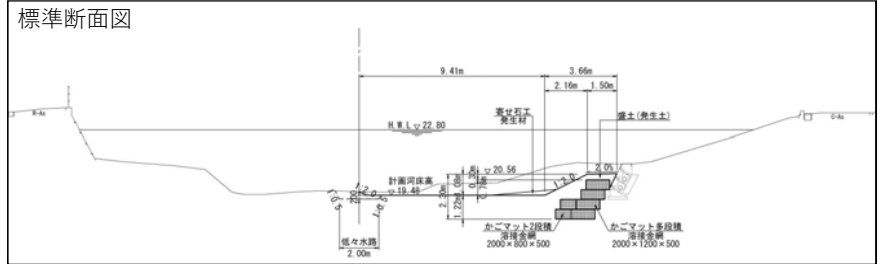
### ○右岸側に親水性を高める工夫

→水辺への階段や遊歩道からの視認性 確保等



2017/8 (施工前)

## 施工状況 「神明橋」 区間

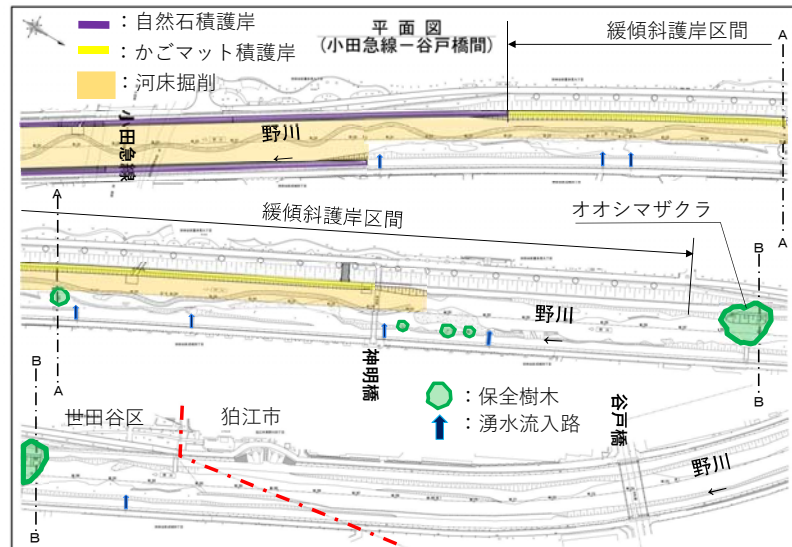


かごマット敷設状況



覆土状況

## 整備平面図 「神明橋」 区間



## 施工後経過 (神明橋より下流を望む)

2017/8 (施工前)



2019/3 (降雨による増水後)



2019/3 (完了直後)



2019/5 (2ヶ月経過)



## 多自然川づくりの取組事例②

### 河道内樹木の取扱い

### 存置可能な樹木は保全する 「神明橋」区間

- ①保全対象樹木の選定と判定
- ②河道内樹木の維持管理



河道内樹木「神明橋区間」のアカメヤナギ

### ①保全対象樹木の選定と判定 「神明橋」区間

#### 1 生物多様性の保持

在来種の育成に悪影響を及ぼす可能性のある外来種は存置しない

#### 2 治水安全の確保

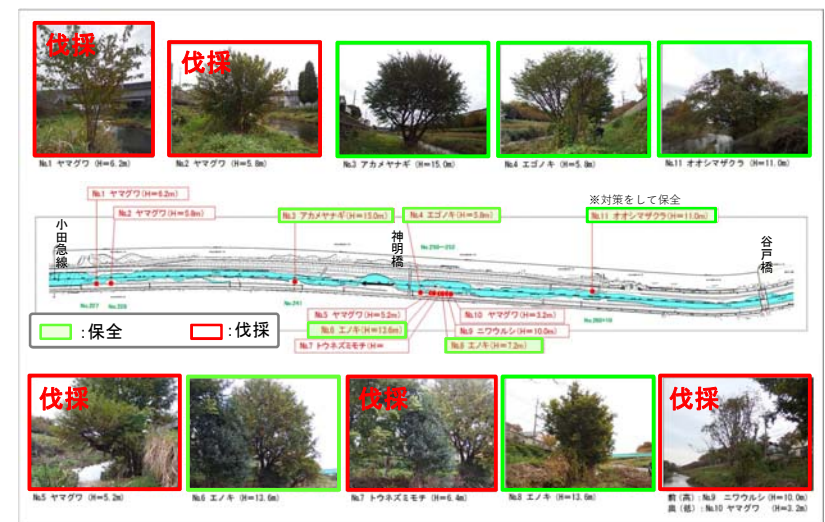
治水リスクの高い樹木は存置しない

- ①洪水流下の支障
- ②河岸の安定性
- ③樹木倒木の危険性

#### 3 倒伏判定

流水や風による倒伏が懸念される樹木は存置しない

### ○保全対象樹木の選定と判定結果 「神明橋」区間



## ②河道内樹木の維持管理

### ○伐採判定基準（案）

### ○保全管理（案）

## ○伐採判定基準（案） 「神明橋」区間

対象樹木が以下の項目のいずれかに該当する場合は、**治水安全を確保するため、伐採撤去**する。

1. 倒伏した場合。もしくは、傾きなどが生じ倒伏の危険がある場合。
2. 「専門診断（外観診断）」※1の判定が「C判定」となった場合。  
ただし、必要に応じて、他の専門家による「専門診断（外観診断）」や「専門診断（精密診断）」等の複数診断を追加して行い、総合的な最終判定を行うことができる。
3. 護岸等、他の河川構造物に影響を与えると判断された場合。
4. 計画高水位以下の枝葉の剪定など、治水安全上必要な樹形の維持や、保全に必要な処置を行う事が出来ない場合。
5. 洗掘防止のための木柵やフトンかご設置等以上の、樹木周辺の環境に大きく影響を与えると予想される大規模構造物による保全処置が必要となった場合。  
なお、支柱や添木による処置は、流下阻害となる可能性があるので行わないものとする。

## ○保全管理（案） 「神明橋」区間

対象樹木を適切に保全管理するため、以下の作業を行う。

### ■観察

実施内容：「専門診断（外観診断）」※1

実施者：樹木医※2

実施回数：年1回

### ■処置

「専門診断」の結果に基づき、必要な対応処置などを行う。

※1 「街路樹診断マニュアル（建設局公園緑地部）」に基づく樹木の診断。

健全度C：不健全

樹勢又は樹形の活力度が5の段階であるもの。もしくは幹や根の腐朽が著しく、極めて不健全な状態で回復の見込みがないもの。また、倒木や幹折れの危険があるもの。

※2 樹木医とは、（一般財団法人）日本緑化センターにより実施されている『樹木医資格審査』に合格し、『樹木医』として登録されている者。

## オオシマザクラの検討 「神明橋」区間

### 【景観面】

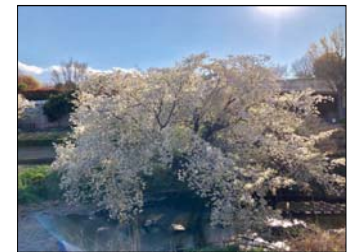
- ・長年地域のシンボルツリーとなっている
- ・野川、崖線及び沿川公園により、水と緑の貴重な空間を形成

### 【環境面】

- ・止まり木にするカワセミ、サギ等多くの野鳥が飛来
- ・魚付林となり、多くの魚類が棲みかとして活用
- ・左岸低水路は鳥類の生息、生育環境に重要

### 【治水面の課題】

- ・現河道断面では、50mm/hrの洪水を安全に流下させることが不可
- ・枝葉が流水を阻害
- ・倒伏により、流木となる可能性が懸念



オオシマザクラ開花時の様子



オオシマザクラ増水時の様子

## オオシマザクラの保全対策 「神明橋」 区間

オオシマザクラを保全するための対策を検討

### 2 治水安全の確保

治水リスクの高い樹木は存置しない

#### ①洪水流下の支障

⇒ 枝葉の剪定、環境を保持するための樹形の維持

#### ②河岸の安定性

⇒ 洗掘箇所対策、根固工の実施

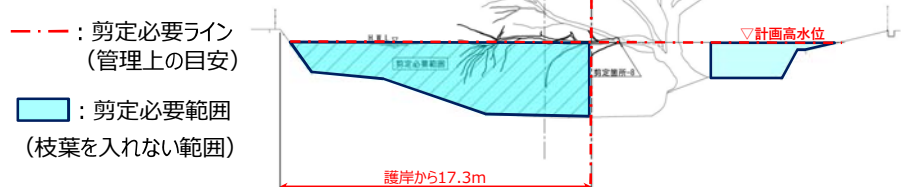
#### ③樹木倒木の危険性

⇒ 樹木診断による定期的な健全度判定

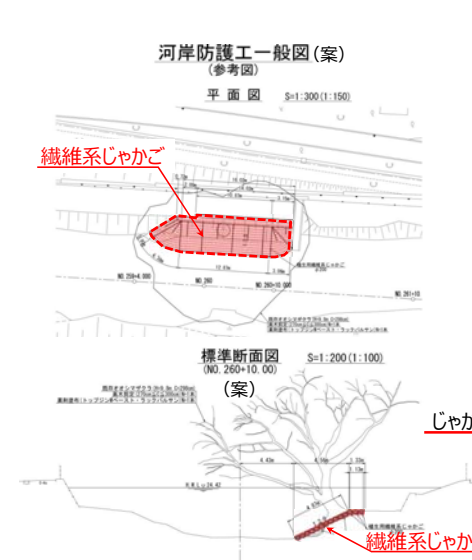
## ①洪水流下の支障対策 (剪定範囲の検討) R1年度施工予定



剪定断面図 (案)  
(上流から下流をのぞむ)



## ②河岸の安定性 (根固工) R1年度施工予定



オオシマザクラ 洗掘状況



繊維系じゃかご 設置イメージ

## 多自然川づくりの取組事例

### その他の取組

### その他の取組①

○：主催団体



市民団体との意見交換会↑  
○市民団体・東京都・世田谷区



近隣住民への整備内容説明会↑  
○東京都



工事前の水生生物救出作業  
○市民団体・東京都・受注者・世田谷区



オオシマザクラ（ひこばえ）の取木作業↑  
○市民団体・世田谷区



工事前の移植作業  
○市民団体・東京都・受注者・世田谷区

### その他の取組② 水道橋～小田急線区間 整備事例



自然石（低水）護岸工



寄せ石工



吐出口部の木工沈床工



国分寺崖線からの湧水水路（施工前）

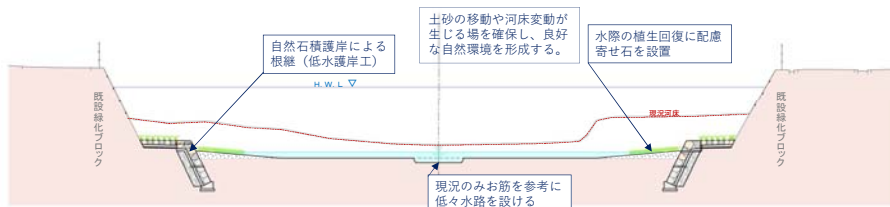


国分寺崖線からの湧水水路（施工後）

カニや貝等の行き来できるように  
落差を階段状に



### その他の取組② 水道橋～小田急線区間 整備経過



整備前



整備直後



整備後4か月



経過状況（喜多見大橋下流）

# おわり